

令和8年度 第二次入学者選抜募集要項

鹿児島県立穎娃高等学校

1 趣旨

第一次入学者選抜で不合格になった入学志願者に対して再度受検機会を与え、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を的確に評価しつつ高等学校で学ぶ意思をもつ者に教育の機会を積極的に提供するとともに、学校の活性化を図る。

2 募集枠

- (1) 第二次入学者選抜は、第一次入学者選抜の合格者数が募集定員に満たない学科において実施する。
- (2) 実施学科及び募集枠は、第一次入学者選抜の合格者発表の当日（令和8年3月12日（木））に県教育委員会が発表する。

3 出願資格

- (1) 第二次入学者選抜に出願できる者は、第一次入学者選抜のいずれかの出願資格を有し、かつ、次に掲げるいずれかに該当する者とする。ただし、私立高等学校に合格し、入学手続をした者は出願できない。
 - ア 高等学校を受検し、合格しなかった者
 - イ 高等学校に出願したが、病気や不慮の事故等により、学力検査を受検できなかった者
 - ウ 県外からの保護者の転勤等の理由により、本校を志願する者
- (2) (1)アの要件に該当する者は、同一校の同一学科には出願できないものとする。この場合における「同一学科」は、学科併願した学科を含むものとする。

4 学科併願

併願は、普通科と機械電気科で第1志望・第2志望を記入できる。（ただし、両学科で第二次入学者選抜を実施する場合のみ。）

5 出願期間

令和8年3月17日（火）から3月18日（水）正午（必着）まで

※ 受付時間は、締切日を除き、平日の午前8時30分から午後4時30分まで

6 出願先

鹿児島県立穎娃高等学校（〒891-0702 鹿児島県南九州市穎娃町牧之内2000番地）

7 出願手続

- (1) 第二次入学者選抜入学願書（本校所定の様式）
 - 「3 出願資格」の(1)イとウに該当する場合、その具体的内容を記載した意見書（任意の様式）を、入学願書に添えて提出するものとする。
- (2) 第二次入学者選拔出願者総括表（様式2-3）
- (3) 調査書（様式4-1又は様式4-2）※令和7年12月31日現在で作成
- (4) 入学検定料
 - 入学願書の所定の欄に2,200円分の鹿児島県収入証紙を貼付する。
 - ※ 東日本大震災、熊本地震及び能登半島地震の被災地域の者は、入学検定料を免除する。
- (5) 自己申告書（様式20）
 - 特別な理由等により年間の欠席日数が30日以上の入学者志願者については、自己申告書を中学校長を経て、本校校長に提出することができる。
 - ※ 自己申告書は、入学志願者及びその保護者が記入し、封をして封筒の表に中学校等名及び本人の氏名を記入して提出すること。
- (6) 「受検上何らかの措置申出」
 - 出身中学校長は、身体的障害等のため受検上何らかの措置を必要とする入学者志願者がいる場合は、第

二次入学者選抜入学願書等の提出に併せて、その旨を本校校長に申し出るものとする。

以上を出身中学校長を経て、本校校長に提出（本校事務室で受付）し、**第二次入学者選抜受検票**の交付を受ける。

8 選抜の期日・場所及び日程

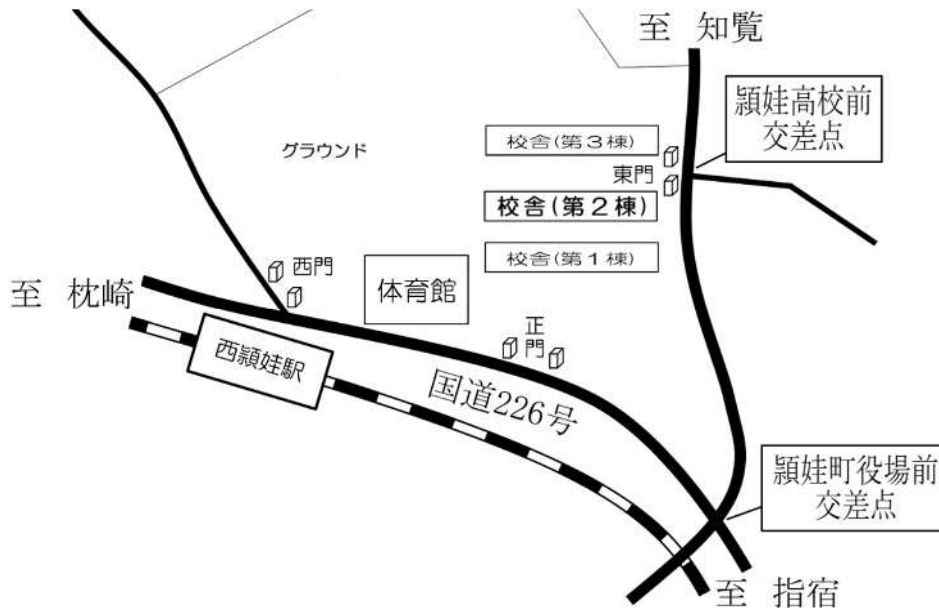
(1) 期日・場所

令和8年3月19日（木） 本校会議室（第2棟）

(2) 日程（午前9時30分集合）

作文 9:55～10:45

面接 10:55～ ※ 受検者によって面接終了の時間が異なります。



9 選抜の方法

調査書の記録、本校で実施する面接及び作文、第一次入学者選抜における学力検査の結果等を総合的に勘案して行う。

10 合格者の発表

令和8年3月23日（月）午後2時以後、本校事務室前において受検番号で発表する。

11 合格者集合

令和8年3月23日（月）午後2時10分、保護者同伴で本校会議室に集合すること。

※ 筆記用具等を持参

12 調査書等の書類による選考

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等への罹患の影響、その他、本人に帰責されないやむを得ない事情により3月19日（木）の「第二次入学者選抜」を受検できない入学志願者については、以下の方法で調査書等の書類による選考を可能とする。

- (1) 「第二次入学者選抜」を受検できない入学志願者で「調査書等の書類による選考」を申し出る者は、令和8年3月17日（火）から3月19日（木）正午までに、第二次入学者選抜に係る申出書（様式24-1）を出身中学校長に提出する。
- (2) 出身中学校長は、「調査書等の書類による選考」の申出があった場合、直ちに第二次入学者選抜に係る申出書（様式24-1）と第二次入学者選抜に係る参考資料（様式24-2）を本校校長に提出する。